

1. 令和5年度市民意識調査結果と各施策の現状と課題(重要度が高い施策上位5項目)

順位	(総合計画)基本施策	割合	現状と課題
1位	子ども・子育て支援の充実	37.9%	・地域のつながり希薄化により孤立・不安を抱える妊婦や子育て家庭増加への対策 ・ひとり親、児童虐待、生活・養育困難家庭の増加への対策 ・安心して出産・子育てができる相談・支援環境整備
2位	災害に強いまちづくりの推進	32.9%	・災害時における必要知識と防災意識の向上 ・地域で互いに助け合う人間関係の構築→情報伝達体制の強化 ・地域防災の要となる消防団員の担い手不足への対策
3位	社会保障制度の充実(高齢者医療・介護・保険・年金制度)	31.2%	・被保険者数の増加による制度の持続 ・健康の保持・増進や疾病の予防・早期発見 ・複雑な仕組みの理解や制度の普及
4位	高齢者サービスの充実	29.6%	・高齢者自身が貴重な地域の支え手・担い手となるための健康寿命の延伸 ・孤立化する高齢者を地域で見守り、支えあう仕組みづくり ・認知症の早期発見、迅速な対応のための関係機関等との連携強化
5位	交通安全・地域安全の推進	23.3%	・自転車乗車におけるルール・マナーの啓発 ・(地域)自主防犯活動の活発化 ・地域安全リーダーの高齢化対策

(参考)「市民参加と協働によるまちづくり」:27施策中27位(1.5%)

2. 文化センターを中心とした地域コミュニティ(自治会・コミュニティ協議会)の現状と課題について

資料1-3参照

★協働の形を維持していくことの困難性

★次世代への持続性(活動の停滞や後継者不足など)

★文化センターに求められる役割など

(市民協働推進部地域コミュニティ課長補佐より)

3. 市民協働の推進に関する基本方針(重点取組)の振返り

【重点取組 1】

協働に関する効果的な意識啓発
成果PR、機会提供、未来の担い手育成
(社会貢献活動奨励金、クイターノット)



【重点取組 2】

職員の協働に関する実践力の向上
理事者、管理職、係長、中堅・新人職員を
対象に実践向けの研修を毎年開催



【重点取組 3】

(拠点)プラッツや文化センターの活用
プラッツ登録446団体(R6.3末)、多種
多様な支援



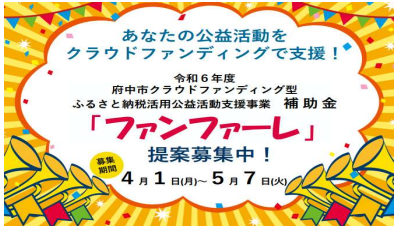
【重点取組 4】

多様な主体同士の連携の拡充
行政課題提示～マッチング、企業・大学
等連携協定締結



【重点取組 5】

市民協働を促進する環境の整備
各種講座・イベント、クラウドファンディング等の実施



【重点取組 6】

コーディネート機能の拡充
職員研修(コーディネート先共有、方法周知)、市民つなぎずと養成講座の実施



【重点取組 7】

協働の取組の進行管理と条例の検討
総合計画の施策評価実施(資料2・3)、推
進会議での十分な検討



課題①

市政世論調査において、近年「協働」認知
度が頭打ちの状態(向上していない)
↓
「協働」に対して市民の関心を高める打
開策・きっかけを生むことが重要

課題②

協働事業提案制度→価値共創促進事業
へ変更し、実施件数減少(R6年度0件)
↓
市民提案しやすい「協働」事業の継続性
が制度上で担保されることが重要

課題③

協働の拠点となる地域のコミュニティに
おいて連携希薄化や次世代継承が懸念
↓
地域連携ネットワーク(情報共有・意見交
換等の交流の場)の更なる強化が重要

- 課題を解決するための一つの手段となる「協働」
- 課題解決に向けて各主体を後押しをする「協働」

「協働」を推進するために、条例制定の必要性は？